

広報 ひろば

# たいせつ

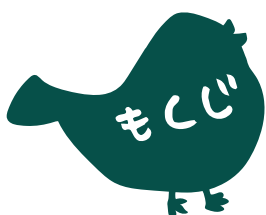


2022 vol.228

<http://www.jataisetu.or.jp/>



1月17日～20日  
令和4年度 営農計画書の  
受付が行われました



令和4年産米作付に向けて	02～04
たいせつなここがポイント	05～06
たいせつ HOT ニュース	07
新型コロナウイルス感染拡大に注意を!	08
明日の担い手	09
理事会・監事会からのご報告・たいせつのあゆみ	10

# 令和4年産水稻の作付けに向けて

## 昨年を振り返って

昨年の気象並びに作況（上川農業改良普及センター調査・品種ななつぼし）を振り返りますと、3月の気温が平年より高く推移したため、融雪が平年より早く進み、播種期も平年より1日早い4月19日となりました。5月4半旬から5半旬にかけて高温条件が続き、苗の徒長や老化が一部見られましたが、移植時の苗質は平年並みとなりました。

移植期は平年より1日早い5月22日でした。

移植時に苗の老化や徒長が見られたほ場では、一部で植え傷みが生じ、活着が遅れるほ場も散見されましたが、6月1半旬以降に記録的な高温となり、日照時間も平年より高く推移したため、6月15日の生育調査では莖数が平年比114%となりました。幼穂形成期は平年より2日早い6月25日となりました。7月も記録的な高温が続き、生育は順調に推移したため、止葉期は平年より3日早い7月10日、出穂期は平年より6日早い7月20日と生育は早く進み、莖数についても、7月15日の調査では平年比112%となりました。開花受精以降は日照時間が確保され、降水量も非常に少なく推移したため、登熟が進行し、出穂期から成熟期までの登熟期間は平年より5日短い44日となり、成熟期は平年より11日早い9月2日、収穫期は平年より9日早い9月16日となりました。

玄米品質は、胴割粒が地域全体で見られ、「アカヒゲホソミドリカスミカメ」の吸汁による被害粒も一部のほ場で散見されました。本年は「イネドロオイムシ」の発生は少なかったものの、「ヒメトビウンカ」は昨年度並の発生が見られ、すす症状も散見されました。また、「いもち病」は発生に好適な天候とならなかった事や、適切な防除が実施されたことから、発生が確認されませんでした。近年発生が目立つ疑似紋枯病については発生が見られましたが、適切な防除を実施したほ場では発生量の減少が見られました。

最終的な作況指数としては上川管内で108（良）となりましたが今後も、基本に立ち返り『信頼される米産地』として『安全・安心なお米の生産と安定供給』そして『環境に優しい農業』に取り組みましょう。



## 1. 高品質・良食味米の生産について

低タンパク米生産は産地評価に繋がりますので、今後も高品質・良食味米の生産量拡大へ積極的に取り組みましょう。

低タンパク米の生産には土壌内の可給態ケイ酸と培養窒素の含有量が大きく影響します。

可給態ケイ酸については右表1を、培養窒素については後述の表2を参考に適正施肥量を判断しましょう。

水田の早期乾燥化も高品質・良食味米の生産における要素の1つです。水田がしっかりと乾燥しないまま作付けを行うと、『ワキ』が発生し稲の生育に対し悪影響がありますので、たいせつ地域では3月中旬頃からの早期融雪を行い早期乾燥に努めましょう。また、溝切り、心土破碎等を実施し表面水排除・透排水性の改善も行いましょう。

近年の異常気象に対応した稲作りを行うには水管理が大変重要です。不稔防止のためにも、冷害危険期に適正な深水管理が可能な畦畔高の確保と漏水防止、また水深測定板を活用し、適切な水管理を行いましょう。

表1 土壌分析値による施用量

可給態ケイ酸 ( $\checkmark$ 100 g)	ケイカル施用量 (kg/10a)
10mg未満	180～240
10～13mg	120～180
13～16mg	60～120
16mg	60



表2 土壌ごとの窒素適正施肥量

土壌窒素肥沃度水準	低地土（乾田） 目標収量 570kg /10a		低地土（半湿田） 目標収量 570kg /10a		台地土 目標収量 540kg /10a		泥炭土 目標収量 570kg /10a	
	培養窒素量 (mg/100g)	基肥窒素量 (Ng/10a)	培養窒素量 (mg/100g)	基肥窒素量 (Ng/10a)	培養窒素量 (mg/100g)	基肥窒素量 (Ng/10a)	培養窒素量 (mg/100g)	基肥窒素量 (Ng/10a)
低い	6.0以下	10.0	7.0以下	9.5	5.0以下	9.0	5.5以下	8.0
中位	6.1～10.0	9.5	7.1～15.0	9.0	5.1～13.0	8.5	5.6～13.0	7.5
やや高い	10.1～12.0	9.0	15.1～18.0	8.5	13.1～15.0	8.0	13.1～15.5	7.0
高い	12.1以上	8.5	18.1以上	8.0	15.1以上	7.5	15.6以上	6.5

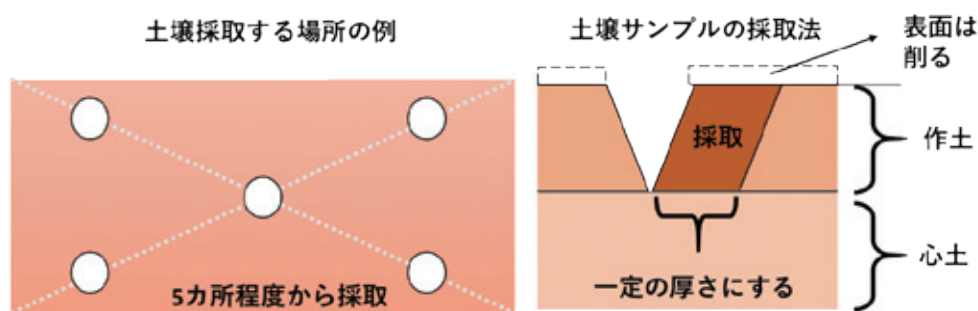
※本田の適正施肥量の目安として上記表を参考にして決めましょう。水田が乾き、耕起の際に土ぼこりが発生する場合は、更に窒素成分で0.5～1.0kg/10aの減肥を検討して下さい。

## 2. 水稲苗床の土壌分析を実施しましょう。

水稲苗床ではリン酸が蓄積しているハウスや pH が適正值（4.5～5.0）でないハウスが近年多く見受けられます。高品質米生産に向け pH の早期調整をしましょう。pH の測定は営農センターにて随時受け付けておりますので、お気軽にお申し付けください。

- ※固まってしまうたり、湿気を含んでいるものなどは乾燥させ、細かく砕いたものをお持ちください。
- ※生育ムラが見られたハウスでは、生育が良好な箇所と不良な箇所の両方からサンプル採取を行い、混ぜずにお持ちください。

図1 土壌サンプル採取方法



## 3. 適期移植を行いましょう。

近年では4月から5月にかけて気温が高く、育苗日数が30日未満でも移植するのに十分な葉齢に達している苗が散見されます。徒長・老化苗の移植は早期異常出穂や茎数不足等の要因となります。苗の葉齢に合わせて水田の準備を実施し、適期を逃さないように心がけましょう。

表3 移植時葉数の目安

品 種	成苗ポット	中苗マット
ゆめぴりか	3.6～4.3葉	3.1葉～
ななつぼし	3.6～4.0葉	
きらら397	3.6～4.4葉	

## 4. 農薬散布・本田防除について

『環境にやさしい農業』の取り組みを強化しながら、徹底した農薬飛散防止に努めるとともに、使用農薬11成分回数以内に取り組みましょう。

除草剤散布においては散布のタイミングが大変重要です。近年、5～6月に気温が上昇するため雑草が急激に生育し、除草剤の効果が得られず残草するほ場が見受けられます。ほ場の状態と天候・気温をこまめに確認し、適期散布に努めましょう。



本田防除については、育苗箱への播種同時施用薬剤の使用が多くなり、いもち病の発生が少なくなっています。しかし、いもち病が発生すると周辺の水田にも被害が拡大します。箱施用剤または水面施用剤を使用し、いもち病の発生を未然に防ぎましょう。

農薬の散布後は清掃を徹底し、残留農薬事故・農作業事故が無いようにしましょう。

## 5. 施設調製米で産地指定確保

消費者・実需者の安全・安心志向が一層高まる中で、均一・大口の『安全・安心なお米の生産と安定供給』が産地としての責務です。そのためには施設調製を基本においた生産体制が重要であり、全生産者による取り組みで対応していかなければなりません。産地指定先では、施設調製米が第一の購入条件であることから、今後も『日本の食糧基地』として需要に沿った米づくりに取り組みましょう。



## 6. 稲わらは適正に処理しましょう。

『稲わらの野焼き』に伴う煙は、環境汚染や道路交通障害、健康被害の要因となるばかりか、産地の評価を低下させる大きな原因となります。特にたいせつ地域は他の地域の方の目に留まる機会も大変多いです。野焼きは絶対に行わず堆肥等に活用しましょう。



## 7. GAP を『する』ことを意識しましょう。

まず GAP とは、『整理』・『整頓』・『清掃』・『清潔』を『習慣』とする『5S』の実践や、作業工程をチェックし作業ミスを減らすことなどを日常的に継続して行い、『食品安全』・『環境保全』・『労働安全』・『人権保護』・『農場経営管理』の5つに取り組むことです。

GAP を『する』とは、日々の農業生産活動（各作物の作業記録、使用資材・投入量、生育状況、危険な作業場所、非効率な作業工程、在庫の有無など）をこまめに記録し、記録を基に見直すことで、労働生産性の向上、肥料、農薬の見直しによるコスト削減、農作業事故の未然防止などの経営改善に繋げる取り組みです。この取り組みを継続することで、労働面や食品安全面でのリスクを最小限に抑えることができます。また、異物混入や不適切な農薬使用など食品安全に関するリスクや、ドリフト被害や廃棄物による汚染など環境保全に関するリスクなどを管理し様々なリスクから『農業者を守る』ための取り組みでもあるため、日頃から GAP を『する』ことを意識して作業を行いましょう。

そのためにも、農協やホクレンが配布する栽培履歴やあんしんネット GAP チェックシートなどは必ず目を通してから、栽培・生産工程を記録しましょう。

## 8. 降雪によるハウスの倒壊に注意しましょう。

本年も冬本番を迎え、降雪量も増加しています。ハウスの肩部直管パイプ等が雪に埋没したまま放置すると、変形や破損の原因となるので、早めに掘り出しましょう。

# たいやつのニがポイント



## 青果編

### 農協と普及センターからの大雪警戒注意報です。

近年、一夜にして大雪がハウスへ降り積もり、ハウスが倒壊するといった事例が過去に数件ありました。野菜の作付けをしている方の中には冬季間もハウスに被覆をする方もいるため、冬季被覆パイプハウスの管理について下記にてご説明いたしますので必ずご一読下さい。

- これまでの風雨や降雪により、施設各部の損傷・ゆるみ・たるみなどが点検し補修する。  
ハウス周辺に堆積した雪は、屋根雪の自然落下を妨げて施設の側壁に側圧を加えるため、速やかに除雪をしましょう。また、雪の重みにより被覆ビニールがたわんで雪が自然落下しにくくなる状況や、吹きだまりや日当たりの良い南側の屋根雪だけが落雪する等により、パイプハウスにゆがみが生じる恐れがあるので、早めに雪庇落とし等を使って雪下ろしを実施して下さい。
- 大雪警報等が発令された際は、直ちに補強支柱等の補強材を応急的に取り付ける。また、屋根被覆材の表面に雪の自然落下を妨げるような突出物等や、ビニール・押さえひも等のゆるみがないかを再点検しましょう。  
加温設備がある場合は、降雪開始と同時に可能な範囲で設定温度を高める。加えて、内張りを開放するなど外張りの天張面を温めて落雪を促す。ただし、ハウス内に栽培または育苗中の作物がある場合は、作物の適温範囲内での開閉管理としましょう。

## ① ほうれんそう

### (1) 温度管理・生産管理

播種時は4℃以上の地温を確保しましょう。

ほうれんそうは、冷涼な気候を好み、耐寒性が強いいため、冬期間は比較的作りやすい作物であるが、播種時の地温は4℃以上を確保する(図1)。

### (2) 病虫害対策

【ホウレンソウケナガコナダニ】

- 非常に小さく(0.4 mm程度)、肉眼では発生確認が困難。
- 低温を好むため、春秋に被害が多くなる。
- 多湿を好むため、土壌が乾燥すると水分を求めてほうれんそうに移動する。
- 新芽、新葉に集中して寄生し、新芽の黒変、子葉の湾曲症状等がみられる。被害に気づきやすい症状として、葉の小突起や縮葉症状がある(右写真)。本葉2~4葉期に加害されると、その後の展開葉の奇形につながる。
- 未熟たい肥、もみガラ等易分解性有機物の施用は発生密度を高める要因となるので、未分解の有機質は使用しない。

【対策】

- 薬剤防除する場合は、地表面全体に薬剤がかかるよう十分な量を散布する。
- ダニのエサとなる未分解の有機物の使用は避け、収穫後の残さや被害葉はほ場外に持ち出し処分する。

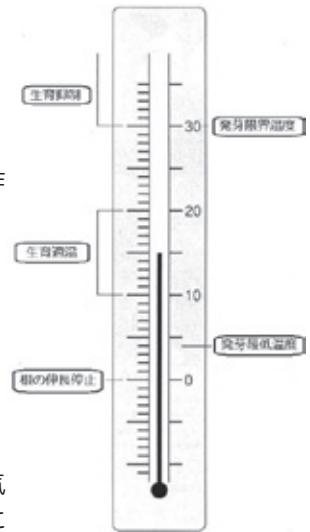


図1 生育・発芽適正温度



写真 ホウレンソウケナガコナダニによる被害の症状

防除例

	播種前	子葉展開時	2葉期	4葉期	6葉期
通常ほ場			カスケード乳剤	アフーム乳剤	
多発ほ場	フォース粒剤	コテツフロアブル	カスケード乳剤	アフーム乳剤	カスケード乳剤

## ② 軟白ながねぎ

### (1) 生産管理

【新畑では土壌 pH の確認を必ずしましょう。】

- ・ねぎは停滞水に弱く、土壌が締まった状態では根が順調に生育しないため、土壌の透排水性を高め、適切な土壌水分時に耕起するように努める。
- ・新畑では、土壌 pH を確認し pH6.0～6.5 を目標に石灰資材を投入する。

【定植の準備をしましょう。】

- ・施肥は定植の 7～10 日前までに施用し、土となじませておく。
- ・定植までに地温 15℃以上を確保する。

#### 施肥例 1 新規ほ場

	施用量 (kg/10a)	成分量 (kg/10a)			備 考	
		窒素	リン酸	カリ		
基肥	マイフィッシュ	71	5.0	3.6		
	NS604	75	12.0	7.5		
追肥	e-トミー046	80*	8.0	3.2	4.8	追肥は2回に分けて行う
合計			25.0	14.3	15.3	

※追肥は定植後 30 日目と 60 日目頃

#### 施肥例 2 リン酸・カリ過剰ほ場

	施用量 (kg/10a)	成分量 (kg/10a)			備 考	
		窒素	リン酸	カリ		
基肥	マイフィッシュ	71	5.0	3.6		
	NS248	60	12.0	2.4		
追肥	e-トミー233	67*	8.0	2.0	2.0	追肥は2回に分けて行う
合計			25.0	8.0	6.8	

※追肥は定植後 30 日目と 60 日目頃

【定植】

- ・購入苗の場合は、病害虫や傷みの有無を確認してから定植する。
- ・植付けは倒伏や曲がり防止のため、垂直に 5～6 cm の深さになるよう行う。

【定植後の管理】

#### ① 温度管理

- ・生育適温は、15～20℃の範囲である。
- ・2月上旬～3月上旬定植では、定植直後から活着まではやや高めの温度管理とし、その後は昼温 20℃以下、夜温 10～20℃として徒長を防ぐ。
- ・苗が、幼鞘径 5～7 mm 程度まで育った後に、一定の低温にさらされると抽台するので、長期間 10℃以下の低温に遭遇させない。

#### ② 日照の確保

2月上旬～3月上旬定植では、日照時間が短いので、日の出から午前中の光を十分に当てるように、トンネル被覆を毎日開閉する。

#### ③ かん水管理

定植直後は十分かん水し、活着までは水分と湿度を多めに管理し、活着後はかん水を控え換気を十分に行ない、根の伸長を図る。かん水は、冷水でなく、地温程度の水温で行う。

#### ④ 追肥

追肥は、生育状況を見ながら、定植後 30 日目と 60 日目頃に行う。

## 12月21日(火) JAたいせつ酪農畜産振興会研修会開催

JAたいせつ酪農畜産振興会は本所営農センター2階会議室にて、研修会を開催しました。開始に合わせて、松原組合長から昨今の酪農と畜産や農業の状況についてのご説明及びご挨拶を頂きました。

続けて営農部下村農業振興課長から令和4年度から見直される水田活用の直接支払交付金制度について説明がありました。

研修中は、参加者全員真剣に耳を傾けており、会員からは、質問や意見を多数頂き、これからの酪農と畜産について協議する時間となりました。



## 12月29日(水) 旭川市・鷹栖町へ鏡餅寄贈

旭川市におけるこの行事は、五穀豊穰と市政の発展を願い昭和51年から市内農協が持ち回りで行っており、本年当農協が当番となっております。また同様に、平成25年からあさひかわ農協と交互に鷹栖町へも寄贈しています。この日、松原組合長・山原専務・澤田参事が旭川市役所を訪れ今津市長へ寄贈。その後鷹栖町役場にて谷町長に寄贈しました。名寄産のはくちょうもちを使用し、最大直径28cmの鏡餅がそれぞれ旭川市役所は本庁舎1階総合カウンターに、鷹栖町役場は正面玄関ホールに飾られました。



## 1月6日(木) 令和4年度 役員年頭挨拶並びに職員コンプライアンス研修開催



令和4年1月6日(木)業務終了後、年頭にあたり、松原代表理事組合長より全職員に向けて映像配信による新年のご挨拶を頂きました。

本来であれば、全役員、全職員が一堂に会するところでありましたが、昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症予防対策として2年続けて各施設分散での開催となりました。

その後、職員コンプライアンス研修を実施し、「役職員の行動指針」の確認や職員代表からの「農協事業の公共的使命・社会的責任などに基づく法令遵守や論理実践を認識し、組合員及びお客様には、親切・丁寧の基本に徹し、交通事故と労働災害のゼロを目標とし、日常業務を通じ組合員及び社会に奉仕する心を常に忘れず、明るい職場づくりをするため、新たな決意と意欲を持って推進すること」を宣誓しました。

## 1月7日(金)~10日(月) お米の科学展 at サイパル 開催

旭川市内4JA等で構成される旭川米生産流通協議会が主催し、学校が冬休み中の1月7日~10日、旭川市科学館サイパルで「お米の科学展」が開催されました。地域の基幹産業である「お米」を「科学」という切り口から子供たちに興味を持ってもらうと共に、ご家族に対しても旭川米への関心を高めてもらいました。館内の特別展示室には稲からごはんになるまでのパネル展示でクイズを出題したり、トラクターの試乗、脱穀やもち米のヨード液試験、3品種の米からオリジナルブレンド米を作り精米までを体験するコーナーがあり、各JA、ダイビ(株)、上川ライスターミナル、旭川市、ホクレンの職員らが丁寧に質問に答える等、4日間でおよそ1,000名の来場者にお米のPRができました。



## 北海道内に新型コロナウイルス感染再拡大中 今一度、感染防止対策を！

全国において、新型コロナウイルス感染が急速に拡大しており、北海道は、札幌市を中心として、感染の再拡大が起きております。

また、オミクロン株が旭川市においても感染拡大しており、引き続き警戒が必要です。

冬の北海道は気温が低く、室内に集まる機会が増えることから、今一度、3密（密集・密閉・密接）を回避して、感染防止対策を行いましょう。

### 1 感染が疑われたら、まず保健所へ連絡し、指示に従ってください。

- 旭川市民の方…旭川市保健所新型コロナウイルス感染症健康相談窓口  
TEL 0166-25-1201 (24時間対応 土・日含む)
- 鷹栖町民の方…北海道新型コロナウイルス感染症 健康相談センター  
TEL 0120-501-507 (フリーダイヤル)

### 2 万が一、感染が認められた場合

- JAたいせつ「新型コロナウイルス」対策本部（窓口…農業振興課 TEL 57-2357）まで状況のご一報をいただけますようよろしくお願いいたします。
- なお、感染を非公表とされた場合でも必要があればご相談ください。個人情報の取り扱いにつきましては、十分留意して対応いたします。



# 「明日の担い手」

## — J A たいせつ青年部 —

農家の世代交代が進む今日、たいせつ地域の農業を盛り上げている若手農業者を不定期で紹介していきます。



## 山口 広夢



- ①：東鷹栖 24 区
- ②：32 歳
- ③：ライブ、よさこい、旅行
- ④：新しい事への挑戦。
- ⑤：田んぼ何枚か拡大したい。
- ⑥：今年はお米余るのでイベントしてほしいです。

## 下野 友貴



- ①：東鷹栖 24 区
- ②：27 歳
- ③：野球、ソフトボール、ダーツ、バイク
- ④：やりたい仕事なかった。が最初のきっかけ。
- ⑤：もっと仕事を覚えてから考えたい。
- ⑥：農家が潤い、農家が儲かるようにしてほしい。

## 川添 宏明



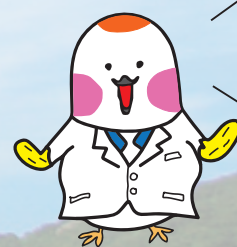
- ①：東鷹栖 25 区
- ②：35 歳
- ③：秋味（鮭釣り）、スノーモービル
- ④：小さな頃から密かに心に決めていた。
- ⑤：常に先を見て時代に乗り遅れるな。
- ⑥：リスク無くして成功は無し！新しいことにどんどん挑戦していただきたい！

- ①：所属農事組合
- ②：年齢
- ③：趣味・特技
- ④：就農のきっかけ
- ⑤：今後の営農にあたっての抱負
- ⑥：今後の J A への期待

## 下田 学



- ①：東鷹栖 26 区
- ②：36 歳
- ③：ドラマ、アニメ、ゲーム。子どもとスキー、水泳たまにします。
- ④：親の体調不良、結婚後の働き方を考えて。
- ⑤：時代に合った農業となるよう取り組みたい。
- ⑥：米の消費が進むように取り組んで欲しい。



コーンニチ  
ハー！

## 理事会からの報告

令和四年一月二十一日第十回理事会で次の案件について協議し承認決定されました。

- 一、組合員の出資持分譲渡および脱退の承認について  
 相続による譲渡一件、組合員死亡による脱退一件について承認決定されました。
- 二、令和四年固定資産・リース取得計画（案）について  
 原案通り承認決定されました。
- 三、令和四年役員報酬額答申について  
 原案通り承認決定されました。
- 四、コンプライアンス規程 コンプライアンス・マニュアルの一部改正について  
 原案通り承認決定されました。
- 五、文書保存規程の一部改正について  
 原案通り承認決定されました。
- 六、給与規程および一般職給与規程 A（期間の定めなし）別表の改正について  
 原案通り承認決定されました。
- 七、理事に対する担保貸付及び担保提供等の包括事前承認について  
 原案通り承認決定されました。
- 八、令和四年信用供与等の限度額設定について  
 原案通り承認決定されました。
- 九、令和四年監査計画の策定及び経営定期点検実施計画について  
 原案通り承認決定されました。
- 十、農協事業地区別懇談会の開催について  
 新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ中止と決定されました。
- 十一、第八期総代選挙実施日程について  
 原案通り承認決定されました。
- 十二、第十九回通常総代会開催日時・開催場所について  
 令和四年四月八日（金）午後一時、たかすメロデイホールでの開催予定として承認決定されました。

## 監事会からの報告

令和四年一月二十一日第十回監事会で次の案件について協議し承認決定されました。

- 一、令和四年監査監査計画の決定について  
 原案通り承認決定されました。
- 二、令和四年年度の会計監査人の監査報酬見積額の検討について  
 令和四年度も「みのり監査法人」を会計監査人として再任し、監査報酬等に対する同意および選解任に係る議案を総代会に提出しないことについて承認決定されました。
- 三、決算棚卸の実施について  
 日程表の通り承認決定されました。
- 四、今後の日程について  
 原案通り承認決定されました。

五、その他  
 コンプライアンス事故報告、内部監査室監査の監査報告、中央会委託内部監査（管農部）の監査報告、令和三年度十一月末棚卸結果、令和三年度決算、五点について検討を行い、承認決定されました。

## 「たいせつ」のあゆみ

- 1月
- 1月6日 役員員コンプライアンス研修会
  - 1月7日 労働安全衛生委員会・企画会議
  - 1月11日 第1回役員推薦会議
  - 1月12日 第2回役員報酬審議会 答申
  - 1月17日 青年部役員会
  - 1月17日 農事組合長・町内会長会議（分散開催）
  - 1月17日 部長会議
  - 1月17日 菅農計画書相談受付（20日）
  - 1月17日 稲穂の里協議会三役会議
  - 1月22日 八丁ムギ生産部会三役会議
  - 1月25日 稲穂の里協議会役員会
  - 1月27日 青果物土壌分析相談会
  - 1月27日 決算棚卸

## お世話になりました 退職

金融部共済課共済係  
 池田裕美  
 （令和四年一月二十一日付）

## 「JAたいせつのFacebookを是非みて下さい！」

～随時更新しています～



お得な情報やイベントの開催、日常業務から出来事まで、さまざまな情報をタイムリーに発信しています！  
 JAたいせつ Facebook にフォロー・いいねをして、お得な情報をGETしましょう！

また、JAたいせつホームページより Facebook も御覧になれますので、是非この機会にアクセスを！

QRコードによる Facebook へのアクセスは  
 右記 QRコードから ⇒  
 ホームページへのアクセスは下記 URL から ↓  
<http://www.jataisetu.or.jp/>



THE JAPAN AGRICULTURAL NEWS

# 日本農業新聞 電子版



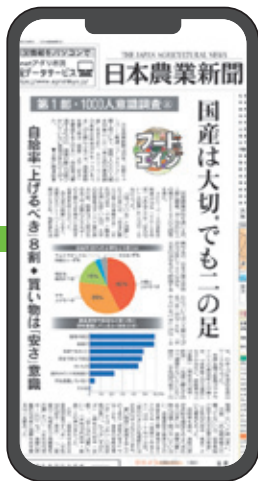
日本農業新聞は電子版を創刊。新聞本紙を基軸に、デジタルでの情報発信を強化します。農業所得と生産力を高め、地域活性化にも役立つ情報を伝えます。

### 電子版のできること

- いつでも、どこでも**  
 スマホやタブレットで、情報収集ができます。
- 過去記事検索が30日分**  
 見逃した記事もさかのぼって読むことができます。
- クリップ機能で記事を保存**  
 気になる記事を最大200件まで保存できます。

### 紙面ビューアーの特徴

- 読みやすさ、そのまま**  
 いつもの紙面と同じレイアウトです。
- 文字を大きく**  
 紙面を拡大・縮小できます。
- 紙面丸ごと印刷できる**  
 大事な記事の保存やスクラップに役立ちます。



月額料金 1 IDあたり 税込み **2,623円** (2,385円 + 税)

- 初回登録月は、月末までの料金がかかりません。
- 電子版のみの料金です。紙版を併せて購読する場合は紙版の購読料が別途、発生します。

電子版のお問い合わせやお申し込みは、農業振興課までご相談ください。